

令和5年度 特別支援教育総合推進事業

特別支援教育充実セミナー

浦河町 福祉と教育の連携



浦河町保健福祉課

主査 宮村 歩

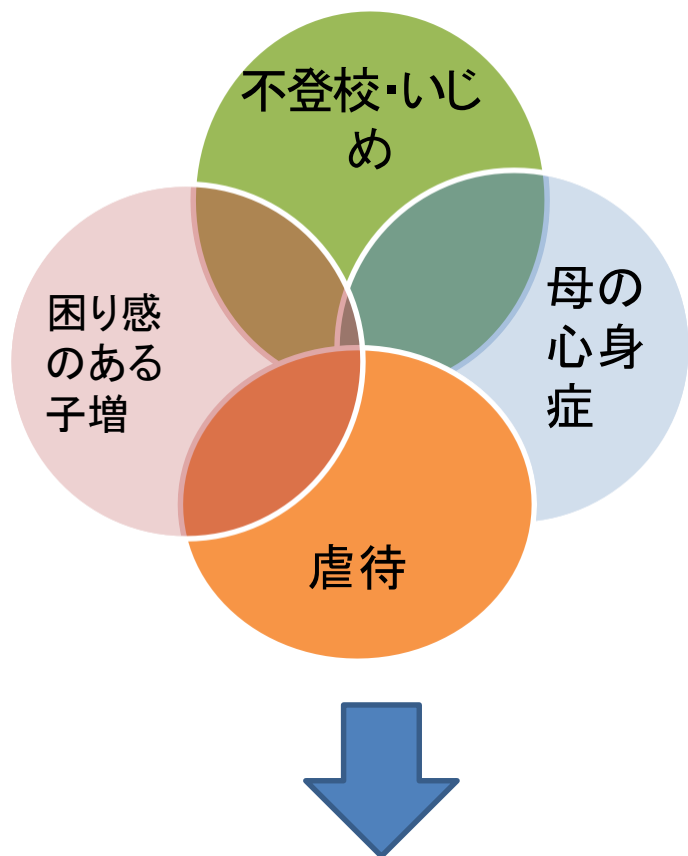
浦河町教育委員会 管理課

主幹 安田 こず恵

■Q-SACCS (青：事業化できている 赤：明確化が課題 緑：機能強化が課題)

市町村名：浦河 町人口：11,500 年間出生：人	0～3歳	継続的 インターフェイス (引き継ぎ) 5W1H	4～6歳	継続的 インターフェイス (引き継ぎ) 5W1H	7～15歳
レベルⅠ（毎日） 日常生活水準	認定こども園2施設 民間保育園2施設 町立保育所2施設 院内保育所1施設 子育て支援センター		認定こども園2施設 民間保育園2施設 町立保育所2施設 院内保育所1施設 子育て支援センター		小学校（4ヵ所） 中学校（3ヵ所） 児童館（2ヵ所） 児童広場（2ヵ所）
共時的 インターフェイス (情報共有、紹介等) 5W1H	保育士 発達相談 OT・心理士 保健師	幼稚園教諭 保育士	保育士 発達相談 OT・心理士	就学前説明会 就学時健診 教育相談 浦河町教育支援委員会 日高東部教育支援委員会	特別支援教育連携協議会
レベルⅡ（定期的） 専門療育的支援	特別支援連携協議会 新生児訪問（保セ） 乳幼児健診（保セ） 乳児相談（保セ） 巡回相談（子医療） ういず（計画相談） 児相巡回相談 教育局（巡回相談） うらここ ぶどうの木 ママカフェ（保セ） 心と育ちの相談(保セ)	保健師 保育士 療育施設職員 子育て支援ファイル	特別支援連携協議会 巡回相談（子医療） ういず（計画相談） 児相巡回相談 特セン巡回相談 教育局（巡回相談） うらここ ぶどうの木		通級指導教室 （小・中巡回型） 特別支援教育連携協議会 ういず（計画相談） 放課後等デイ からし・ぶどうの木 うらここ 児相巡回相談 特セン巡回相談 教育局（巡回相談） パートナーティーチャー
共時的 インターフェイス (情報共有、紹介等) 5W1H	保健師 幼稚園教諭・保育士 児相（室蘭・苫小牧分室）		保健師 幼稚園教諭・保育士 児相（室蘭・苫小牧分室）		特別支援教育連携協議会
レベルⅢ 医療的支援	浦河赤十字病院 エマオ診療所 ひかし町診療所 コドモックル札幌等	・・・継続・・・	浦河赤十字病院 エマオ診療所 ひがし町診療所 コドモックル札幌等	・・・継続・・・	浦河赤十字病院 エマオ診療所 ひがし町診療所 コドモックル札幌等

浦河町の現状と課題



- ① 不登校・いじめ問題
- ② 虐待問題
身体的虐待・心理的虐待・ネグレクト・性的虐待
- ③ 生活習慣が身についていない・**愛着障がい**の増加
- ④ 困り感のある子どもの増加問題
(対人関係・コミュニケーション)
- ⑤ 母の疾病(心的)・ひとり親の増加

多面的な支援と予防対策が必要

平成29年度に機構改革！

保健福祉課

(社会福祉・児童福祉・身障者福祉・知的障害者福祉・母子福祉等)

(保健センター)

NEW  保健福祉課

専門的な分野を追及！

NEW  子育て医療課

(子どもの発達に関すること ほか)

2分割へ✈️...

早期の気づき、早期相談に

つなげるためのかわりについて

(保健センター・子育て医療課・子育て支援センター・保育所・幼稚園)

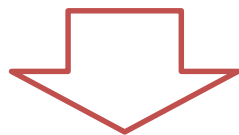
1歳半健診・3歳児健診後のフォロー体制

(保護者の悩みや困り感に寄り添った相談の実施)



保育所・幼稚園を訪問

- ①保護者の了解を得て、保育所・幼稚園を訪問。
- ②園での様子を保護者と共有し、乳幼児との関わり方について指導助言する。
- ③町内の専門機関（療育施設や児童精神科）などの情報提供を行い、希望であれば見学・体験を紹介する。



乳幼児の成長・発達を保護者と確認し、安心して子育てできる環境を提供する。

安心して就学を迎えるために・・・

就学予定者対象就学説明会の開催



●令和5年7月11日(火)実施

午前の部:10:00～11:30

午後の部:18:30～20:00

保護者34名 **関係者11名** 計45名



どんな説明会だったのか？

○安心して就学を迎えるために 「就学までに育てたい力について」

堺町小学校 特別支援教育コーディネーター 清水祥子 教諭



○小学校就学までの流れについて

全員に配布



- ・就学時健診について
- ・就学に向けての教育相談について
- ・共育相談「元気」について
- ・浦河町子育て支援ファイルの活用について
- * 参考資料 各小学校入学の準備品

○就学援助制度について

安定した土台は、たくさんの 感覚体験によって、形成される

入学後スムーズに学校生活や学習
に移行していくためには、この根や
幹の部分が育っていることが必要

根っこが育っていないと
あとから育てようとしても
なかなか難しい…

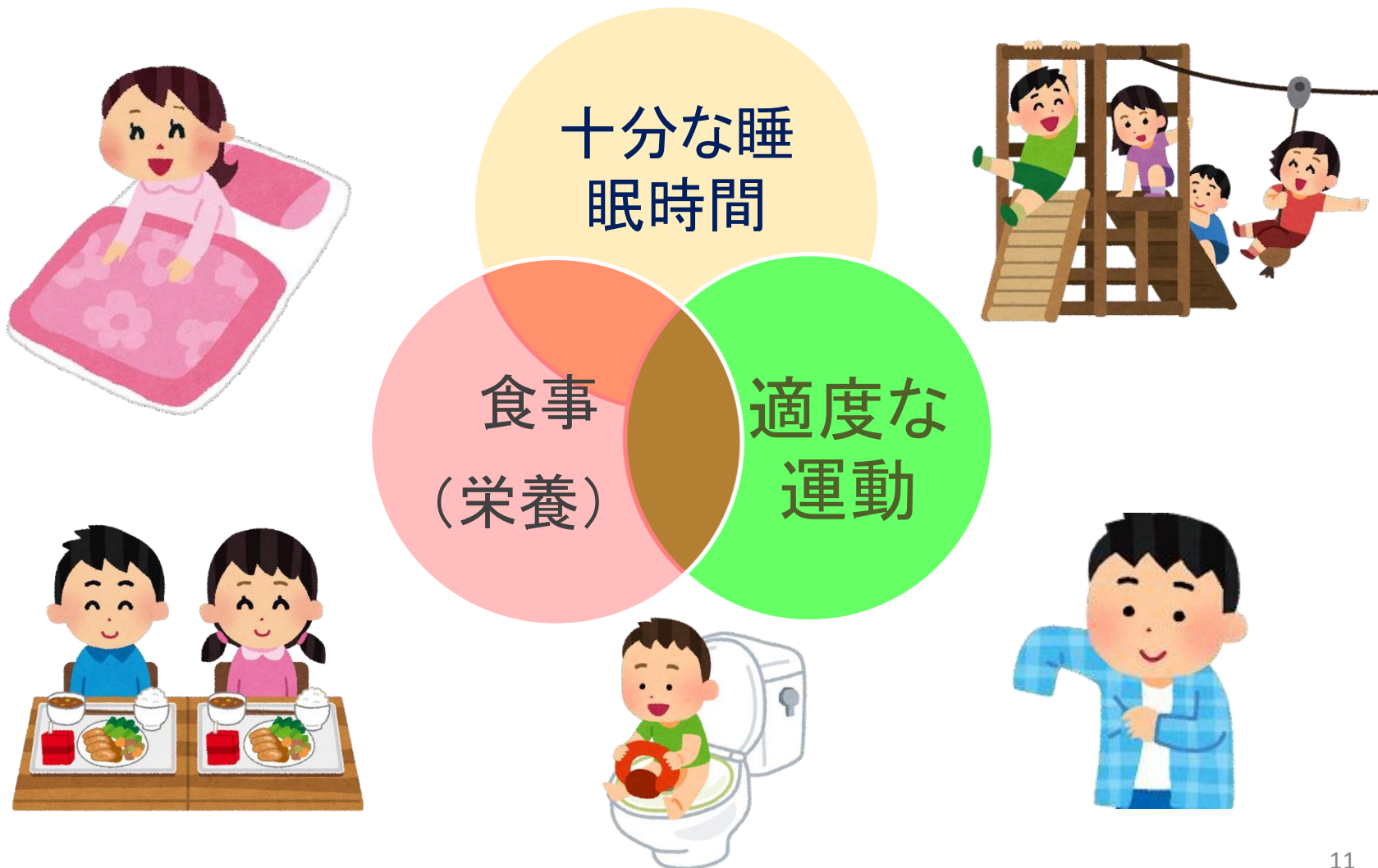
1. 体を動かして遊ぶ経験

自ら触ったり動いたり
する遊びが感覚を育
て、よりよい発達を
促す



ともに遊び、楽しい時間を共有

2. 基本的な生活習慣の形成



3. ソーシャルスキルの獲得

- ・ 「友達と遊ぶ」経験が思いやりの心やコミュニケーション能力を育てる
- ・ あいさつは人とかかわる「きっかけ」
- ・ 自分から進んであいさつができるように

友だちとの遊びを通して将来に
わたって必要な対人関係や
社会性の基礎を学ぶ



4. 愛着の形成

- ・ 愛着関係：特定の人との間に形成される精神的絆（基本的信頼感）
- ・ 愛着関係を土台に知的能力、安定した情緒、社会性は発達する



「家庭」は、
子どもの心の
安全基地



課題解決

教育相談

どんな環境・配慮がいいのか一緒に考えよう(考えられるその子の特徴やその背景も含めて)

暖かい応援の空気が感じられるような話し合い。

保護者・共育相談「元気」・保育所・幼稚園・学校・保健センター・子育て支援センター・療育施設・医療

中心：子ども



まわり：保護者
関係機関

家族の心配を安心に・・・

得意な事



苦手な事



各学校のコーディネーターが幼稚園・保育所に訪問したり 保護者・お子さんが学校見学に行ったりもします。

保護者の思い



学校の体制



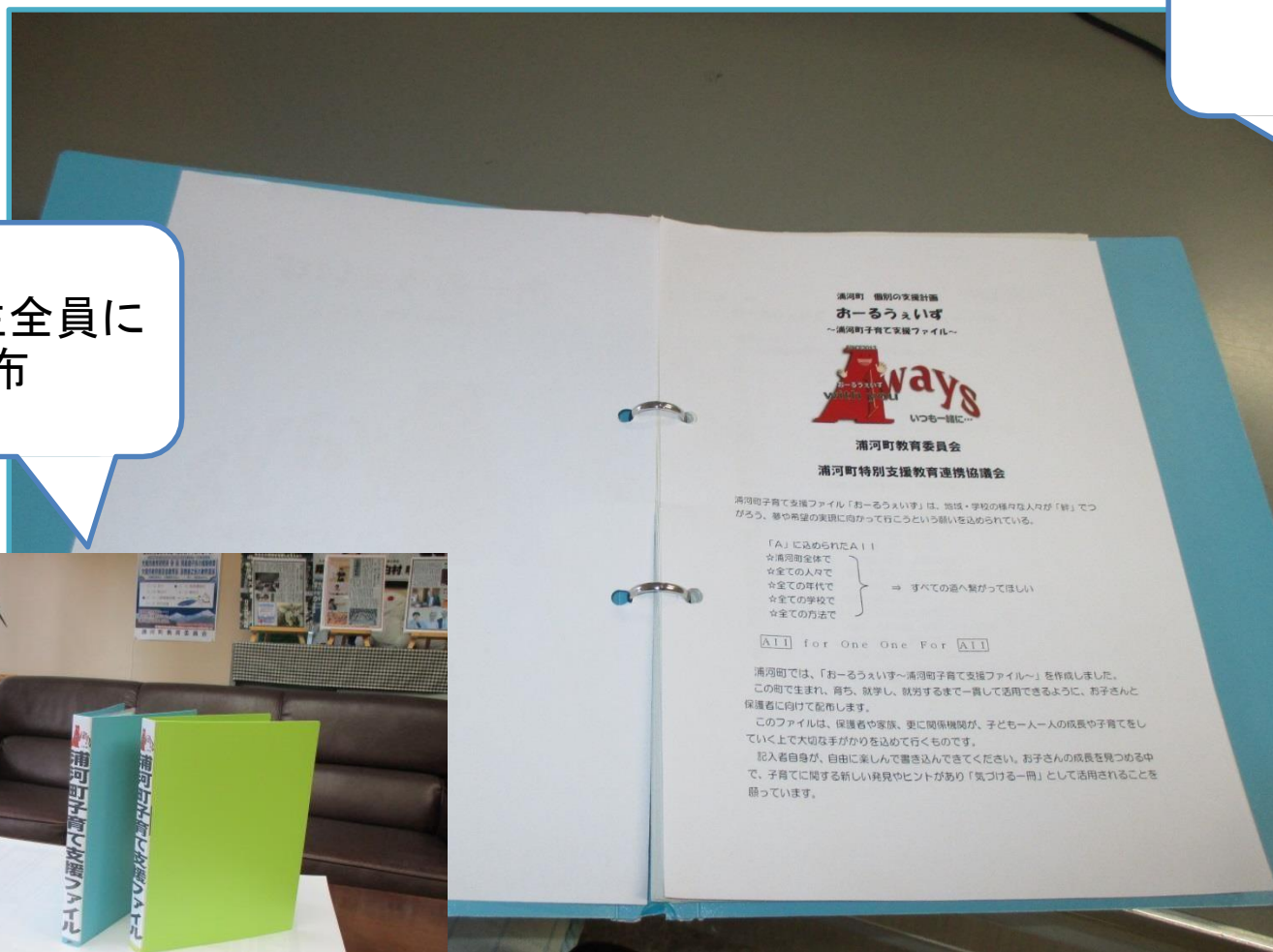
合意形成をはかる

教育相談は必要に応じて何度でも・・・

浦河町子育て支援ファイル

今年度80冊
配布

新一年生全員に
配布



子育て支援ファイルとは

子どもの成長を見つめ、保健・医療・福祉、教育などの関係機関による連携した支援を受けることができるようにするためのファイル

必要な時に必要な機関へ、正確な情報を引き継ぐことで、タイムリーに必要な支援を受けることができるためのツール

誕生から就労までの記録

支援体制づくりに役立つ

まだまだ、残る課題

①保護者へのきめ細やかな相談体制

②保護者、地域への情報提供

③子育て支援ファイルの活用

④効果的な引き継ぎ

校種間(幼保小中高)、学年ごとの引き継ぎ

⑤関係機関との更なる連携

⑥専門性の向上

⑦複数課との連携

浦河町特別支援教育連携協議会

乳幼児

児童(小学校)

生徒(中学校)

高校

一貫性のある支援活動

実態把握(特別な支援が必要とする乳幼児・児童生徒)

関係機関と密なる連携・協力 相談支援体制の確立・総合的協議及び調整

特別支援教育を円滑に推進

業務内容

- 1 相談支援
- 2 情報発信
- 3 研修
- 4 連携・協力



【浦河町特別支援教育連携協議会】

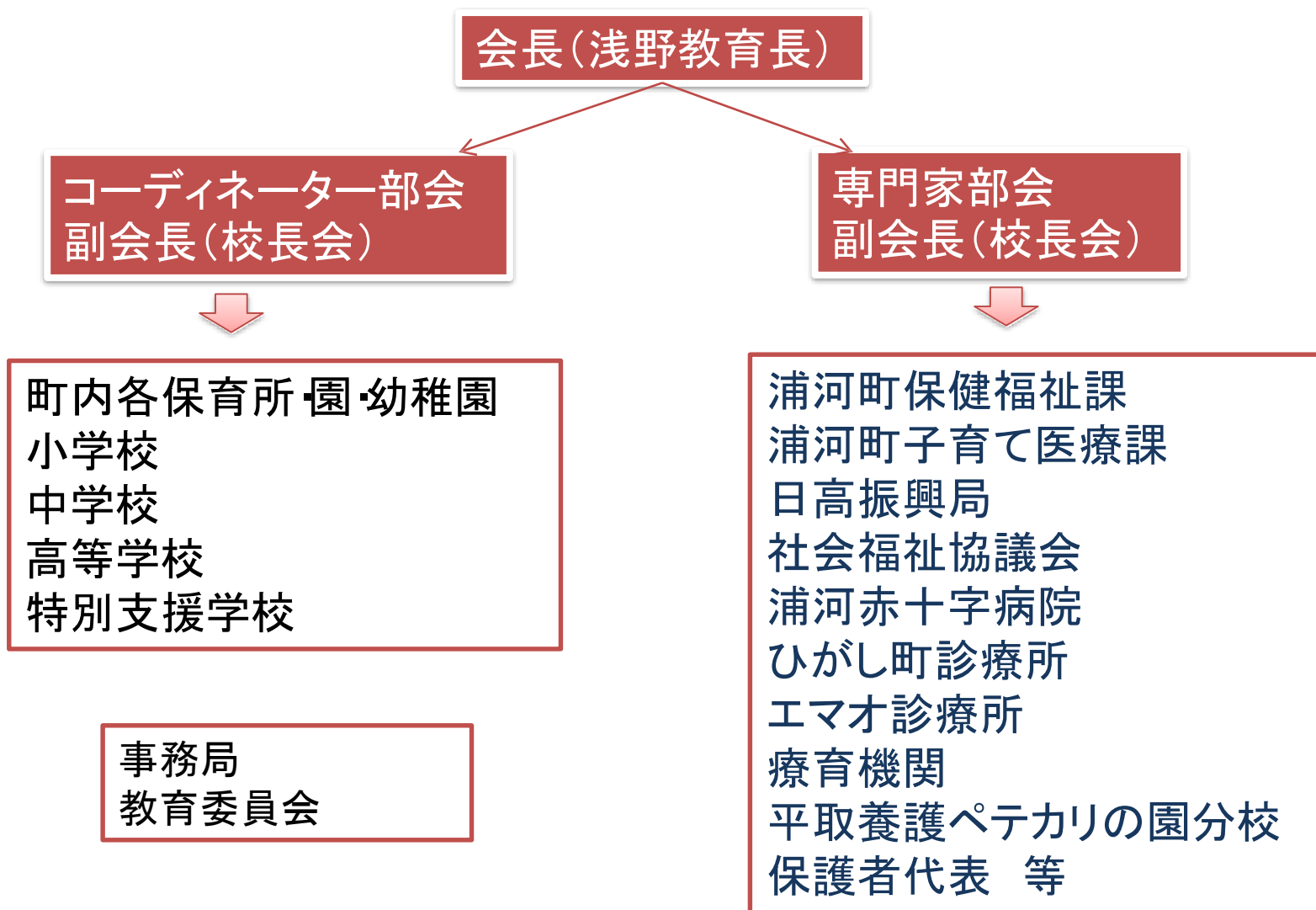
基本方針

- 障がいの有無にかかわらず、だれもが相互に人格と個性を尊重し、**支え合う「共生社会」**の形成に向けて、特別支援教育の推進とその発展に努めます。
- 連携協議会は、乳幼児児童生徒の能力や可能性を最大限に伸長する**特別支援教育の理念や考え方を**、教育関係者をはじめとして**町全体で共有し**、最適な教育環境を創造することを目指します。

子ども達の自立と社会参加に向けて
発達支援システムを構築する

だれもが生き生きと輝けるまち
(浦河町総合計画の将来像)

特別支援教育連携協議会（組織図）



コーディネーター部会の役割

1 連絡調整

■ 校内

校内委員会の推進

個別の支援計画作成、確認、交流

学級担任への支援: アドバイス

研修企画

■ 関係機関

パートナーティーチャーター制度申し込み

巡回教育相談申し込み等

3 保育所・幼稚園・小学校・中学校間の連携

■ 訪問

■ 相談依頼

■ 引き継ぎ

4 専門部会との連携

2 保護者との関係作り

■ 相談窓口

■ 就学相談

■ 保護者に対する普及啓発



専門家部会の役割

1 相談・判定・助言

- 知能検査(WISC・社会生活能力検査等)
- 医学的な評価
- 専門的な意見の整理

2 特別支援教育に関する理解と 啓発及び研究

3 コーディネーター部会との連携

